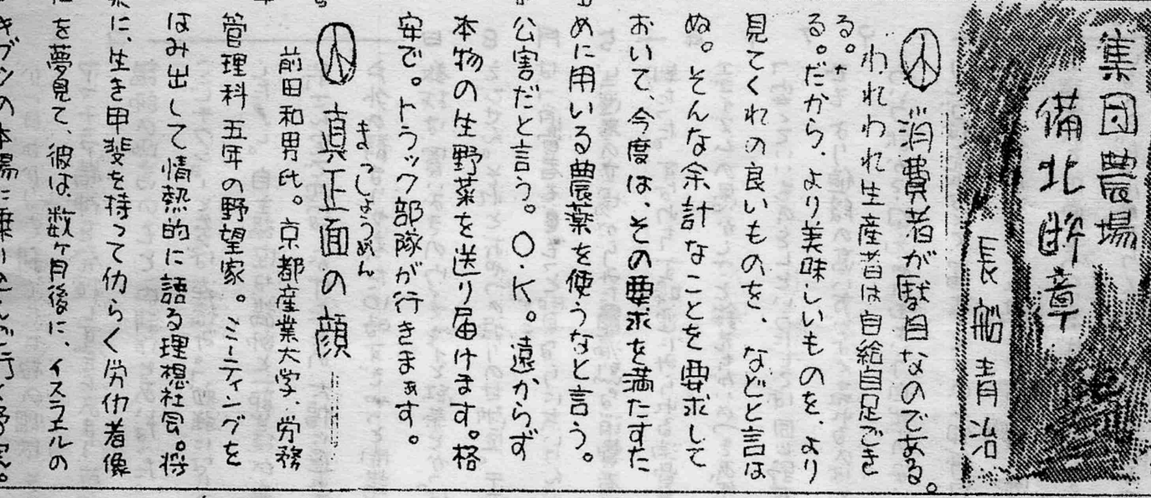
# 集団農場 備北酪農



長船青治

☮ 消費者が受身なのである。われわれ生産者は自給自足できる。だから、より美味しいものを、より見てくれの良いものを、などと言はぬ。そんな余計なことを要求しておいて、今度は、その要求を満たすために用いる農薬を使うなと言う。O.K。遠からず公害だと言う。○.K。遠からず本物の生野菜を送り届けます。格安で。トラック部隊が行きます。

## 真正面の顔

まこしょうめん

号

☮ 前田和男氏。京都産業大学、労務管理科五年の野望家。ミーティングをはみ出して情熱的に語る理想社会。将来に、生き甲斐を持って伝らく労働者像往を夢見て、彼は数ヶ月後に、イスラエルのソキブツの本場に乗り込んで行く予定。一世界をともに動かすブレーンを探しているとか、汚れなき目をしている。猫ミの手も借りたいような多忙の中で、将コにライオンのように、高地を能廻し、ぬかるみと落足にキで付きながら最後まで伝らいてくれた。ファミリアクーペ1200の持ち主でもある。感謝しよう。クーペちゃん、ありがとう。俺もお前の主が日欲しい。

8月 ☮ 私は不満だ。こんな、シコシコと農業にいそちしむのは辰の辰い話だ。ゲバラの顔——写真を見てそう思った。なぜだろう。ゲバラの目は燃へている。その目が燃へているから、日々、頁けるのは解そ。ている。所詮、殺されるのだ。ならば、なら9ばこそ、共同体にどんなロマンを生かし得るというのだろう。然り、やって見なきや解らない。先号で、尾関氏は、日共同体ないかにロマンを生かしきるかにかかっているように思う。と書いている。しかし、自己のロマンを生活として、生き、生かそうとすることは難しい。難しいからといって、なんのまだ、ほんの一歩ではないか。俺は、俺の共同体をやるでェー。

☮ 車の中で尾関氏の話の中から一番オモシロイと思ったこと。それは、ロンドンの、とあるわさな共同体。街中のアパートを占拠しているような格好のヒッピー共同体と呼ぶのは、マスメディアであって、住んでいる五六人の若者は、日中は各自の仕事に行き経済上の共同サイフということで、夜は少なからず芸術的になるそうである。そうであると書いておく。尾関氏もそこで一諸に芸術的なものを試みた話しがオモシロカッタ。書いてやらない。知りたい人は、自分なりに知って下さい。

☮ 島根大の女の子は駄目。援農はお手伝いではない。おてもいい。話す時には、むろん話すが決っていないのだが、自分をベールで包んで軽薄ぶるのは止そう。しかし、本当の自分が黙って行動するというものならそれでも良いでしょう。『新しい人間像』を求めて来た凸と言うが、本当だろうか。是非、感想を送って欲しく思います。出来れば、今度、来る時には、何か書いてくるか、ノートを持参されたい。これは彼女たちだけでなく、これから参加する人に提起する。時には、しんみりムードで話せる奴が欲しいのだ。

☮ 自由連合のアンケより

『ヒッピーのような人達は仲間と共同体をつくり、その中だけでざまな文化、芸術活動を行なうまし、それはその共同体の中だけで完結してまいます。その芸術的な活動も個人の内面的深化または、楽しみだけで終るのではなく同時に外に開かれた社会全体の解放のための斗いにならないかっ』凸

☮ 備北南拓団々長、山本老人（七十九才）は、戦時中、中学校の同盟休校を指揮したとかで、退学されることも回、国内の中学校を転々とすることも回ということです。而して、明治大学卒ということなのだから、オモシロイ。現在の体制ではまず、内申書で駄目だろう、と思いながら夜遅くまでトリスウィスキーを（風呂上りは、まわるぬえん）飲みながら、老人の話を聞いていた。それはみな、学生が騒いだ時だ。大人しくしていれば、明治時代のような興趣深い学生生活が送れるかも知れない。谷川の水をひいた水洗便所と風呂。手造りのベット。子羊をかばう親羊。栗の木林。

☮ 芥子の花、マリファナ、どぶろくてなことには絶対ならない。

☮ 県道から家までの道が駄目。堀り起して広げようと、試みる。同志社大学生の山本君も一諸にやる。手伝うという表現はここではない。彼は、独りで、大きな石を堀りあて、家の入口の辺くに引こずって行って立てて日石碑だ。墓だァ。凸とよろこんでいる。早速、柵の入口をぬった黄のペンキを持って来て、少年マガジンの日アシュラ凸が終ったのに感激したのだろう、日阿修羅ここに眠る凸と書いた。次の日の朝七時のラジオのニュースで、高橋和巳の死が報道された。え？ナニイ？オイ、タカハシカズミが死んだぞ。ナニ？誰がエエッ●ヘェ～。阿修羅の墓のイタズラが浮かぶ。この世の假設場は死者におそ終る。所詮、燃えて火となり灰となる人間という宿に、あなたも住んでいるんだ。この一見、みすぼらしい宿のいろりの火だっていつか消へるさ。そうさ。消へるなんてのは、あんたなて知ってるはずやで。ざまあみろ。

☮ 家のまわりには今、桃の花と桜が満開です。ボケの濃い赤も目に付きます。梨の木にもわさな白い花がいっぱい付いてます。リンゴの木には小粒の新緑がいっぱい付いています。ここの気候は盆地とそっくりなんだって。尾関氏と村松さんのボクシング。今井氏がバイクに乗って上って来た。田中氏が一人で歩いて上って来た。キツツキの音がする。カラスが泣いている。（佐藤氏）

が風邪で寝袋の中で咳をしている。角野氏が足に赤チンを付けている。長髪の山本氏が苺造り用のひもごはちまきをして、その性ではないのだが、私服がまた来る。頭を剃って来た前田氏は、毎日、ふもとまで買い出しに行き、人々にめずらしがられています。僕は、夜空の星の美しさにみとれて寝たのですが、次の日の早朝、嵐の風雨の音にオドロイて目を覚ましあわただしく、イロリに火などを付け、「眠れましたか？」などと隣りの人にボソボソ言う。煙が室内を這うように広がるのは、屋根の煙り抜きから農家がこぼれ落ちているからでしょう。そして、昼になると、嘘のように晴れ上ってしまうので号す。一日中、どんよりとした日もあります。

## 山奥の自主講座

石川司

昼間、備中ぐわの使い方から、かぼちゃの種のまき方、大根のうねの作り方を教授してもらった藤沢さんを講師に迎えて、云わば自主講座開講。ところが、われわれが一日がかりで耕した二枚の畑は、そのアマチュア精神を発揮しすぎをあまり、藤沢講師の助言のもと、再耕作とあいなった。ここでテクショーと云えば逆恨み。「勉強になりました！」。自主講座は講師と一部生徒が永野さん宅で沈没しかけたため、大幅に遅れて、戸外の静まりかえった10時すぎやっと開講。教材は、買おきのウイスキイと紅茶とかっぱえびせん。それとおやつの狩りの甘納豆。テモマは、「消費者も、もっと賢ならにあいけん」と5生産者の立場からみた無駄な消費者批判だった。すなわち主婦連にみられる消費者エゴイズムの思かさと鉄ちがいのつきあげ。

1「安くていいものを」というにしては同心野菜
7でも、より値段の高い方がよく売れるのはどういう訳かで、日光や紅玉という自然の味
9リンゴは売れなくて、富士やXXの一個何百円もするのが売れる。それは、生産者に舌の感覚を盗まれて味覚をつくりあげられてしまっているからだ。八月から一月にかけての紅玉は、リンゴの王様じゃ。何がうまいのかと、土から生まれたものが、どんな過程を経て市場に並ぶのかと、「自性ほど総合的な知識を必要とするものはねえで、消費者もいっぺんつくってみるとええ。そうすりゃ、どこにどんなから、くりがあり、安くて自然のものを買う勉強もできるじゃろう。」

## 兼田瀬通信 第10号

### 「自連の読者の皆様へ」について

大阪アジトの黒ヘルメットの赤文字は自連ではない。いろんな奴がいてもう構わないが、問題は自連にしてこの位しかいろんな奴がいないのかということであろう。否、圧倒的な量の学生および学生くずれの読者が多面的に開花せず、むしろ幾らかたよった部分で花がつぼみのまま散りかけたりする。自連2号編集室（二画記事）に迫って「コミューンとか共同体とかわけのわからぬものをへお守り札〉とこばらまいている。」それが、昔かわらぬ〈自連〉とは違う。

### マルティン・ブーバー
### 『もう一つの社会主義』
### ―ユートピアの途―
### 読書会

隔週月曜、夜六時半から
場所。喫茶「お茶福」の二階（天王寺駅から西へ五分右側にある。）
次は、五月二十四日。六月七日。
六月二十日。

### ライヒ読書会

毎月第三日曜　正午より
次回は、五月二十三日。六月二〇日。
場所は、旭区森小路町四―七　昌美荘内
秋岡さんの部屋。
テキスト。ヴィルヘルム・ライヒ著
『性と文化の革命』
現代思潮社　九百円
勁草書房　六百円

### 『曲辰民志願』読書会

京都郵便局ポスト

京都在住で、共同体に関心のある方は連絡して下さい。
向日市連絡先　京都市上京区下長者町知恵光院（板硝子会館内）　山本幸規

## 告知板

### 第三次備北開拓へ！

七月、八月の約二ヶ月間の予定ですが、帯在期間は任意ですので、貴方の都合の良い期間をお知らせ下さい。不確かなちはずるずるべったりで何ヶ月にても構いません。作業は、自己の修理、疎菜の手入れ、開墾、牧草植へ、道路造り、家の修理などなど。所持品は、食費（一食五〇円から百円位）、お米持参の方は格安。はなはだしきは無料。作業衣。持てる人は、寝袋、手袋。そして、筆記用具は自コミューン集団へのレポートを書いたりする為に必。

連絡先。大阪市旭区大宮二郵便局留
尾関弘

### 現代のアナキズム運動

尾関弘著　三一新書　三五〇円

アナキズムの現代的具現の形態の一つとして共同体を追求する。